

こ も い つりさかい せ き し ゅ つ ど ひ ん
117. コモ井・釣坂遺跡出土品

■ 指定日

平成2年10月24日

■ 種別

有形文化財 考古資料

■ 年代

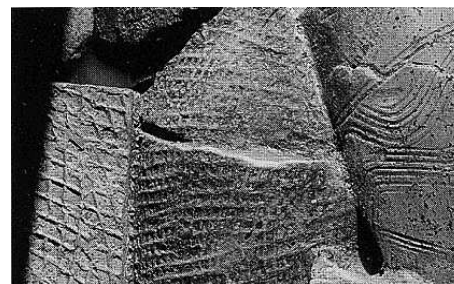
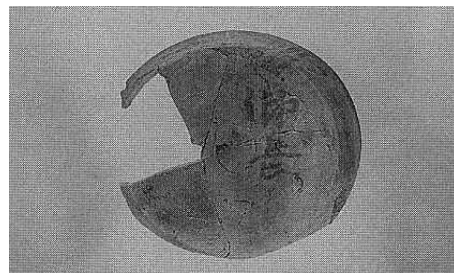
(コモ井)鎌倉時代
(釣坂)白鳳時代

■ 所在地

朝来市山東町大月 埋蔵文化財センター

■ 所有者

朝来市



■ 内容

立脇の左岸段丘上に古代の地割跡とともに、白鳳寺院跡と考えられる立脇廃寺がある。ここは、小字名「庄境」であるため、新井庄と立脇庄との境とみられ以前から注目されていた。昭和60年(1985)の調査で、コモ井遺跡からは、12世紀後半から13世紀初頭の水路が発見され、田梯子・杭・田下駄等が出土した。

また、平成9・11(1997・1999)年度の調査で、釣坂の松越・福本遺跡より、白鳳時代の瓦・建築材・墨書土器・祭祀具などが発見された。